



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

2020年9月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,140	27.3	490	33.8	476	35.1	290	38.0
2019年12月期第2四半期	5,695	32.4	740	30.1	734	31.0	468	24.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 276百万円 (41.2%) 2019年12月期第2四半期 469百万円 (26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	42.57	
2019年12月期第2四半期	68.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	8,378	6,383	76.2	935.97
2019年12月期	8,892	6,284	70.7	921.50

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 6,383百万円 2019年12月期 6,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		24.00		26.00	50.00
2020年12月期		30.00			
2020年12月期(予想)				25.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の中間配当金につきましては、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,445	20.8	912	41.5	1,135	27.0	724	27.1	106.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	6,924,400 株	2019年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	104,176 株	2019年12月期	104,127 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	6,820,246 株	2019年12月期2Q	6,820,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、経済活動が著しく縮小しております。

当社グループは、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産物、農業など幅広い業界へのサービスを提供しており、グループ各社の特色を組み合わせることで相互に補完し、取引先企業における製品開発から試験・解析・販売・保守やアフターサービスまでのビジネスプロセスの各段階へのサポートを実現することで「技術情報統合マネジメント企業」を目指しております。また近年では、IoT、AI、ロボットビジネスをはじめとする新規事業・新規領域の開拓を図っております。

新型コロナウイルスの影響は、2月以降徐々に営業活動への支障という形であらわれてまいりましたが、それでも第1四半期は比較的順調な業績の推移となりました。

しかしながら、4月に入り、緊急事態宣言が発令されるに及び、状況は一変いたしました。当社グループでは、グループ各社で積極的なテレワークの導入、事務所内でのソーシャル・ディスタンスを保つためのスペースの確保、休業など、従業員の感染防止策を講じました。一方で、取引先企業の多くでも、同様の対策がとられたことから、営業活動、とくに新規案件の受注に向けた活動が大きく制約され、売上高の確保が厳しい状況となりました。これに対して、役員報酬の削減をはじめとして諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、売上高の減少分を補うまでには至らず、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高4,140百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益490百万円（前年同期比33.8%減）、経常利益476百万円（前年同期比35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益290百万円（前年同期比38.0%減）と前年同期に対して減収減益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（ドキュメンテーション事業）

ドキュメンテーション事業においては、上述のように新型コロナウイルスの影響により、4月以降の新規受注が減少したことから、売上高は1,391百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益は349百万円（前年同期比23.1%減）の減収減益となりました。

（エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業においても、新型コロナウイルスの影響により営業活動が著しく制約を受けることとなりました。特に民間向けFA・ロボットシステムの受注が思うように伸びなかったことから、売上高815百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益125百万円（前年同期比34.8%減）の減収減益となりました。

（技術システム事業）

技術システム事業におきましては、そもそも前年同期にはWindows 7のサポート終了に伴って、多くのIT機器更新があったものの、これらの需要が終了したことによる売上高減に加え、新型コロナウイルスの影響により、前年対比で大きく減収減益となりました。具体的には、売上高1,956百万円（前年同期比40.0%減）、営業利益は311百万円（前年同期比30.2%減）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,378百万円であり、前連結会計年度末より514百万円減少しております。内訳としては、流動資産が436百万円減少の4,675百万円、固定資産が77百万円減少の3,702百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で268百万円、電子記録債権で47百万円、その他で92百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金で857百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産が41百万円、のれんの償却により「のれん」が17百万円、その他無形固定資産が15百万円減少したこと等であります。有形固定資産とその他無形固定資産の減少は、主に減価償却によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より612百万円減少し、1,994百万円となりました。内訳は、流動負債が615百万円減少の1,985百万円、固定負債が2百万円増加の9百万円であります。流動負債の変動の主な要因は未払消費税等で27百万円、その他で85百万円（主に仮受金）増加した一方、短期借入金が330百万円、未払金が263百万円、未払法人税等が106百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,383百万円であり、前連結会計年度末より98百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が113百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益290百万円を計上したことと配当金を177百万円支払ったことによる）した一方、その他有価証券評価差額金が14百万円減少したこと等あります。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で1,112百万円を獲得し、投資活動では337百万円、財務活動では506百万円の資金を要したことにより、前連結会計年度末より268百万円増加の2,055百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、営業活動で1,112百万円（前年同期比95百万円増）の資金を獲得しました。これは、税金等調整前四半期純利益434百万円（前年同期比297百万円減）、減価償却費91百万円（前年同期比26百万円増）、売上債権の減少809百万円（前年同期比408百万円増）、その他流動負債の増加151百万円（前年同期比68百万円減）、法人税等の還付額70百万円（前年同期比68百万円増）等の資金の増加があった一方、その他流動資産の増加59百万円（前年同期比29百万円減）、法人税等の支払額385百万円（前年同期比111百万円増）等の資金の減少があったことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動では有形固定資産の取得による支出346百万円（前年同期比48百万円増）があったこと等により、337百万円（前年同期比24百万円増）の資金を要しました。なお、有形固定資産取得の主なものは、バイナス新工場建設に係る建物及び構築物であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動としては、短期借入金の減少330百万円（前年同期比160百万円増）、配当金の支払額176百万円（前年同期比27百万円増）があったこと等により、506百万円（前年同期比187百万円増）の資金を要しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 追加情報

（新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等に関して先行きを予測することは困難ではありますが、当社グループでは、現時点で入手可能な外部情報等に基づき、当該感染症の影響は第3四半期以降、徐々に回復するものと仮定して、のれん等の会計上の見積りを行っております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,852,588	2,121,250
受取手形及び売掛金	2,567,177	1,710,043
電子記録債権	209,361	256,744
商品及び製品	58,662	65,124
仕掛品	189,517	194,617
原材料及び貯蔵品	12,172	12,192
その他	227,082	319,793
貸倒引当金	△4,497	△4,413
流動資産合計	5,112,064	4,675,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,851,137	1,814,324
土地	1,059,212	1,059,212
その他(純額)	166,618	162,316
有形固定資産合計	3,076,968	3,035,852
無形固定資産		
のれん	196,901	179,131
その他	110,905	95,341
無形固定資産合計	307,806	274,473
投資その他の資産		
その他	408,103	405,028
貸倒引当金	△12,640	△12,640
投資その他の資産合計	395,463	392,388
固定資産合計	3,780,238	3,702,715
資産合計	8,892,303	8,378,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	334,972	318,928
短期借入金	650,000	320,000
未払金	704,429	440,442
未払法人税等	307,900	201,699
未払消費税等	111,919	139,279
賞与引当金	161,495	153,497
受注損失引当金	4,274	928
製品保証引当金	14,333	13,384
その他	311,631	397,032
流動負債合計	2,600,956	1,985,192
固定負債		
退職給付に係る負債	4,100	6,974
資産除去債務	2,347	2,360
固定負債合計	6,447	9,334
負債合計	2,607,403	1,994,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,197,775	4,310,815
自己株式	△25,575	△25,626
株主資本合計	6,284,294	6,397,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,890	△16,244
為替換算調整勘定	2,495	2,500
その他の包括利益累計額合計	604	△13,743
純資産合計	6,284,899	6,383,540
負債純資産合計	8,892,303	8,378,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,695,430	4,140,479
売上原価	4,094,056	2,762,390
売上総利益	1,601,374	1,378,089
販売費及び一般管理費	861,308	887,868
営業利益	740,065	490,220
営業外収益		
受取利息	4	12
受取配当金	798	771
確定拠出年金返還金	647	1,507
売電収入	783	1,107
助成金収入	740	11,310
その他営業外収益	1,924	1,104
営業外収益合計	4,898	15,812
営業外費用		
支払利息	2,096	1,801
支払融資手数料	3,862	3,861
為替差損	1,502	82
減価償却費	1,318	1,158
解約違約金	—	18,856
その他営業外費用	1,737	3,680
営業外費用合計	10,517	29,441
経常利益	734,446	476,592
特別利益		
固定資産売却益	70	79
助成金収入	—	766
特別利益合計	70	846
特別損失		
固定資産除却損	1,397	5,627
減損損失	600	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	36,815
特別損失合計	1,998	42,443
税金等調整前四半期純利益	732,518	434,994
法人税、住民税及び事業税	329,315	177,029
法人税等調整額	△64,920	△32,401
法人税等合計	264,394	144,627
四半期純利益	468,124	290,367
親会社株主に帰属する四半期純利益	468,124	290,367

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	468,124	290,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	763	△14,353
為替換算調整勘定	141	5
その他の包括利益合計	904	△14,348
四半期包括利益	469,028	276,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,028	276,018
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	732,518	434,994
減価償却費	65,433	91,678
長期前払費用償却額	75	75
のれん償却額	17,769	17,769
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△61
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,479	△7,998
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	2,923
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,429	△3,345
受取利息及び受取配当金	△803	△783
支払利息	2,096	1,801
固定資産売却損益 (△は益)	△70	△79
固定資産除却損	1,397	5,627
売上債権の増減額 (△は増加)	401,296	809,704
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,043	△11,730
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△30,148	△59,172
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53,904	△15,917
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	219,615	151,446
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,372	10,412
その他	△1,508	1,655
小計	1,291,371	1,428,999
利息及び配当金の受取額	803	783
利息の支払額	△2,023	△1,737
法人税等の支払額	△274,285	△385,459
法人税等の還付額	1,903	70,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,017,769	1,112,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56,000	△78,000
定期預金の払戻による収入	54,000	78,000
有形固定資産の取得による支出	△298,422	△346,555
有形固定資産の売却による収入	600	80
無形固定資産の取得による支出	△10,551	△9,830
その他	△2,468	19,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△312,842	△337,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170,000	△330,000
自己株式の取得による支出	—	△50
配当金の支払額	△149,530	△176,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,530	△506,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,081	△272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	384,315	268,662
現金及び現金同等物の期首残高	1,684,301	1,786,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068,617	2,055,250

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,546,195	932,304	3,216,931	5,695,430	—	5,695,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	469	3,178	43,726	47,374	(47,374)	—
計	1,546,664	935,483	3,260,657	5,742,805	(47,374)	5,695,430
セグメント利益	454,056	192,468	446,465	1,092,990	(352,924)	740,065

(注) 1. セグメント利益調整額△352,924千円には、セグメント間取引消去6,384千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△359,308千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,390,928	807,689	1,941,861	4,140,479	—	4,140,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	234	7,606	14,205	22,047	(22,047)	—
計	1,391,163	815,296	1,956,067	4,162,526	(22,047)	4,140,479
セグメント利益	349,047	125,493	311,438	785,980	(295,759)	490,220

(注) 1. セグメント利益調整額△295,759千円には、セグメント間取引消去5,025千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△300,785千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。